

かがやき



「真歌山から見た静内の風景」

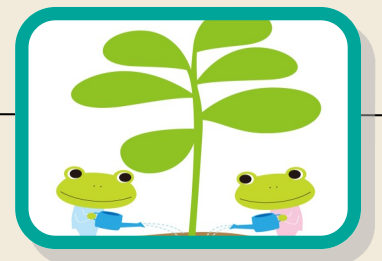
Photo : 高橋久美子

Contents

P1 ~2 ◆ 各事業活動報告・参加者の感想

P3 ◆ 教育企画研修報告・施設間交流研修

【発行】公益社団法人 北海道看護協会日高支部
【編集責任者】支部長 木下 淑子
【発行日】令和7年10月1日



看護管理者懇談会

開催日：令和7年8月2日（土）

開催地：新ひだか町ピュアプラザ

内 容：①看護の動向 ②懇談会
テーマ「自部署の尊厳を守る組織風土」
について現状を分析し、管理者としての
課題を述べる

*高齢者のケアに焦点を当て尊厳について考える



日高支部 支部長 木下 淑子

昨年度に引き続き、管理者懇談会が8月2日に開催されました。今年の管理者懇談会のテーマは、「尊厳を守る組織風土」でした。私個人としては、このテーマでグループワークが成立するかは、正直、心配でもありました。「尊厳」とは、大きなテーマであり、管理者が現場の課題とリンクできるか不透明なところもあり、役員皆で幾度となく検討しました。しかし、グループワークへの導き方が素晴らしく、各グループが、スムーズに意見交換ができ、本当に良かったと感無量です。

「身体拘束最小化に向けた取り組み」や「患者の意思決定支援」また、「高齢者虐待や不適切ケア」など、看護管理者が抱えている「尊厳」に含まれる課題は多くありましたが、グループワークを通して、共感や管理者としての考えが間違っていないことの確信などが、看護管理者に勇気とやる気を与え、明日への一歩に繋がった研修になったと感じています。

参加者の感想

日高町立門別国民健康保険病院 看護主任 大沢美枝

午前中に「看護の動向」について講義を受け、午後はグループワークでした。昨年に引き続きの参加です。事例をもとに他施設から参加された皆さんと意見交換しましたが、同じテーマでも施設の特徴や職員の年齢層の違いから様々な意見があり、参考にしたいものもありました。円滑に進まないことに対して、風土を改善する、考えただけではできていない、誰かのせいにしていない自分もいる、という印象に残った意見があり、日々の業務で心がけたいと思いました。

日高徳洲会病院 看護師長 緑川佳奈

「地域全体の健康・療養支援」看護の質を保証するための管理者としての連携～尊厳を守る組織風土をどう伝えていくかというテーマでグループワークを行いました。具体的な事例をもとにグループワークを行い、現場で抱えている看護管理者のジレンマが共有出来て良かったと思います。2時間半という時間があっという間に過ぎ、充実した懇談会でした。昨年に引き継ぎ、管理者懇談会を通して、顔がわかる関係、横の繋がりが広がることに嬉しさを感じました。



各事業計画内容の紹介

看護管理者懇談会 参加者の感想

平取国保病院 副看護師長 高野 智穂

多様な生き方・働き方・考え方が存在する中で、人々の健康と生活を支える看護は、どの場面においても自律した専門職としてアプローチできる重要な役割を持ち、また一人一人の意思を最大限尊重し、多職種によるチーム医療の中でキーパーソンとして活躍することが求められていることを学びました。そのため、専門性の高い看護師の育成・確保を含む看護師の資質向上の推進に取り組んでいく必要があることを学びました。

静内保健所 野澤 菜穂

各病院の看護管理者の皆様がとても元気で、笑いの絶えない懇談会でした。身体拘束や認知症高齢者の意志決定支援などについて、より良いケアのために、職員と共に一歩ずつ真摯に取り組むお話がとても勉強になりました。めざすケアを分かっている実践面では難しいことも多く、私自身悩むところもありましたが、前向きに頑張っていこうと思いました。

石井病院 三橋 広翼

今年度より看護主任となり初めての管理者懇談会参加でした。他施設の管理者の先輩方の悩みも、自分や当院でも抱えているものと同じような事であることを知ることができたり、経験談や他の視点からの意見を聞くことができたので、今後の管理業務を行う上での参考となりました。また、日高地域の他施設の管理者の方々と顔を合わせ話が出来たことで、今後地域内での連携がとりやすくなるのではないかと感じました。今まではスタッフとしての立場から自分の考えを発言するだけでしたが、懇談会の中で“管理者として…”との言葉が何度も聞かれていたことから、これからは何事も「その考えは管理者としてどうなのか」という視点を持ち、一度考える必要があることを学びました。



各事業活動報告

支部企画研修会

主な内容

開催日：令和7年7月5日(土)

開催地：診ひだか町ピュアプラザ

研修名：快眠術

～意外と知らない上手な眠り方～

講師：東洋羽毛北部販売株式会社

小原 康彦 氏



＜参加者の感想＞

新ひだか町立静内病院 古川佳苗

良く眠れてるので、良い睡眠をとっていると思っていましたが、悪い睡眠でした。寝る環境を整えて、疲れを取るような睡眠を心がけたいと思います。寝姿勢圧測定も人によって全然違い驚きました。自分に合ったマットレスを探したいです。

浦河赤十字病院 澤尻諭里依

睡眠が健康や集中力、美容に深く関わることを学び、日々の生活習慣を見直すきっかけになりました。体内時計の整え方や仮眠のとり方、入浴のタイミングやカフェイン摂取の注意など具体的で実践しやすい内容が多く、大変参考になりました。今後は研修で得た知識を日常生活に取り入れ、質の良い睡眠を心がけて健康維持と生活の質の向上に役立てたいと思います。



施設間交流研修

今年も日高支部施設間交流事業始まっています！

今年は昨年より多い20研修を企画、管内の10施設のご協力のもと12月まで実施しております

次回は参加者の声をお届けしますので楽しみにしてください

